



キヤステイング大会が千エトリッヒの東方八〇キロにあるモリスで行われた競技種目は国際キヤステイング連盟で決められた一〇種目とスイス・キヤステイング協会独自の一種目を加えた一一種目。第一日は主に遠投種目で、第二日は的を水面に浮かべ仕掛けを投げこんでポイントを得る種目。スイス各地方のクラブ代表三〜四名がエントリーし、参加選手合計七〇名がこれら種目に腕をきこせた。女性三名とプロフェッショナル五名も参加したが、男女の区別、ハンデイなど一切なく、おらかなながらも真剣な競技風景だった。当日の遠投競技記録は一六五メートル(世界記録一七五メートル)仕掛けはミチ単一・五号、オモリ二〇号程度。竿は殆んどの人が延べのグラス竿。四〜四・五メートルを使用していた。詳しくは順次号を追って紹介したい。ともあれこのような競技会は日本における今後の釣りのあり方に大きな示唆となろう。

